

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リバティキッズ プーク			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 15 日		～	令和 8 年 2 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 15 日		～	令和 8 年 2 月 15 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 25 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活の仲での困り感の解消に向けてお話をさせていただき、本人や保護者、支援者で協力しながら支援方法を提案、実行をしていること	・子どもの発達や周囲の環境を考慮し、様々な手立てのアイデアを立案・相談させていただき、関わる方が辛くならないように支援を行っている	・関係各所へ訪問し、事業所外での様子を確認している。 ・教諭や支援者と情報交換の中で、実際に行っている支援方法を具体的な例を提示している ・支援の前後での変化がどのようにあったかの記録を行い、話し合いにつなげていく ・現場で取り入れやすい方法について検討を重ねる
2	・本人・保護者・事業所で連携をしながら支援を行っていること	・事前に保護者、職員と情報共有を行い要望や困り感について聞き取りを行っている ・子どもや保護者、関係先からも、できるようになったことや困り感についても情報共有を行っている	・対面での話し合いが難しい場合もあるため、より密に情報や支援方法を共有できるようにアイデアを試している
3	・多職種で連携しながら専門的な視点からチームでの支援を行っていること	・特定の担当者だけの視点に偏らないように、専門職とも情報を共有しながら事業所内で分析を行っている	・定期的に事業所内で多職種が連携し、よりよい支援方法の提案について検討していく ・外部研修への積極的な参加

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用希望者や利用日数増加の希望に対して、送迎の問題などもあり調整が難しいこと	・希望者は多いが定員数が増やせないこと ・総量規制が施行されていること	・平日の送迎先の変更（自宅など） ・現在ご利用いただいている子どもに不利益が生じないようにすること
2	支援の質の平準化を図ること	・（悪いことではないが）支援に対する理想を高く持っているため、職員個人が現実と自意識ギャップを大きく捉えすぎてしまっていること	・職員間の支援方法の相談、情報共有の機会を増やす
3	プログラム内容が似てしまうことがある	・スキルを一度の学習で獲得できることは少ないので、何度も練習が必要になる。獲得を狙っているスキルにアプローチするために、支援方法が似てしまう	・職員の決めたルールだけではなく、子ども達が考えた遊びを多なう中でスキル獲得に近づくルールを組み込むなど、工夫して関わっていく。